

# 札幌商工会議所 定期景気調査結果 (平成27年2月分)

## 【調査要領】

1. 調査期間：平成27年2月13日（金）～平成27年2月27日（金）
2. 調査方法：札幌商工会議所会員企業のうち、404社へ調査票を送付。  
FAX、またはインターネットにより178社から回答（回答率44.1%）
3. 調査項目
  - (1) 定例調査 2月の景況感（売上・採算等）と、先行きに対する見通しについて  
（DI値（※下記参照）を集計）
  - (2) 付帯調査 主要取引先の海外生産・海外調達の国内へのシフト動向と影響について
4. 業種別・資本金別の回答状況

業種	回答企業数	割合
建設業	43	24.2%
製造業	23	12.9%
卸売業	34	19.1%
小売業	17	9.6%
サービス業その他	61	34.3%
合計	178	

資本金	回答企業数	割合
1千万円以下	45	25.3%
1千万円超～5千万円以下	78	43.8%
5千万円超～1億円以下	21	11.8%
1億円超～3億円以下	7	3.9%
3億円超	27	15.2%
合計	178	

### ※DI値について

DI値は、売上・採算・業況など各項目についての、判断の状況を表す。  
ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、  
マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

$$\left[ \text{業況DI} = \frac{(\text{好転} - \text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})} \right]$$

※先行き見通しDI＝当月（2月）と比べた、向こう3ヶ月（3月～5月）の先行き見通し

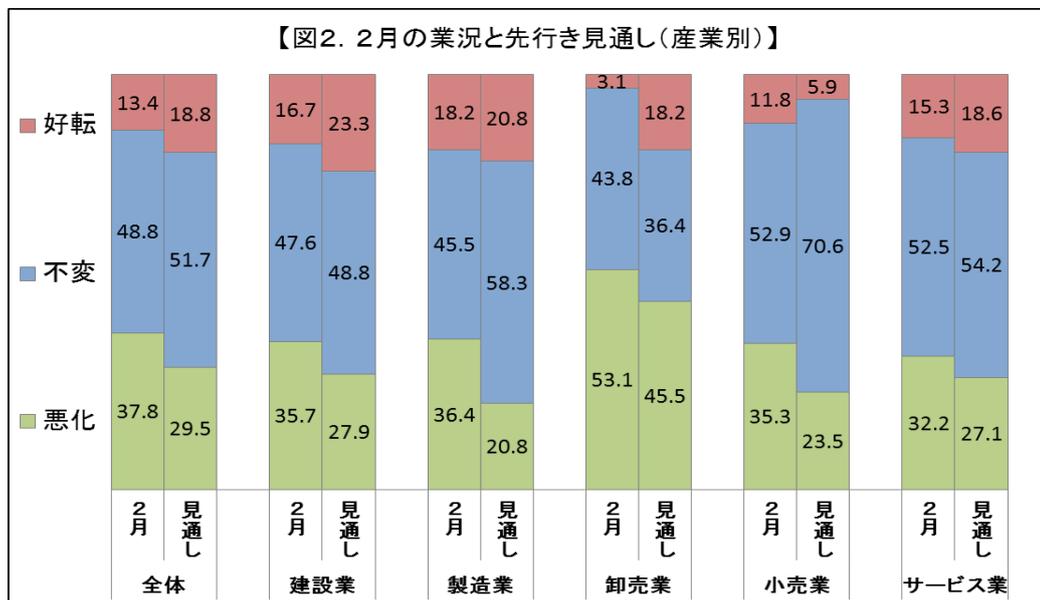
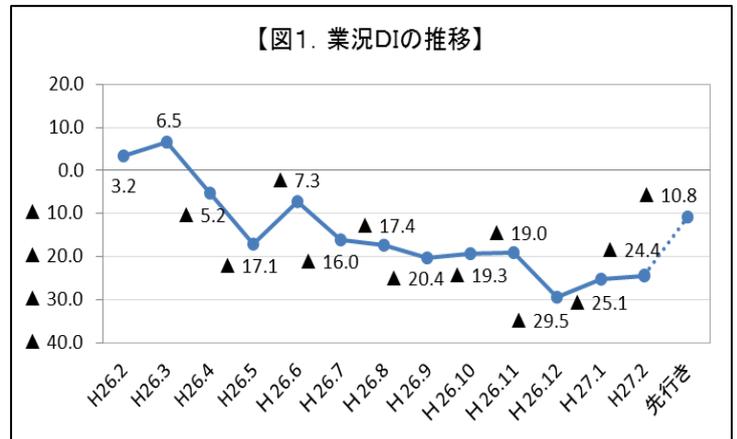
# 1. 平成27年2月 調査結果

## 業況DIは横這い。先行きは持ち直しを見込むも慎重な見方が続く

### (1) 業況DI

・ 27年2月の業況DI（前年同月比、以下同じ）は▲24.4と、前月からほぼ横這い。産業別では、建設業・ホテル業などサービス業は改善したが、小売業ではほぼ横這い、製造業・卸売業は悪化した。

・ 向こう3ヶ月の先行き見通しDIは▲10.8と、2月から13.6ポイント上昇した。先行きは全産業で改善を見込んでおり、産業別では卸売業が2月から22.7ポイント、建設業が14.3ポイントの大幅な上昇となった。製造業は18.2ポイント改善したが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横這い。採算の好転への期待感が伺える一方、新年度以降の受注状況の見通しへの不安や、原材料など仕入コストの高止まりが続き、先行きに対しての慎重な声も多く寄せられた。



【表1. 産業別の業況DI推移】

	H26. 9	H26. 10	H26. 11	H26. 12	H27. 1	H27. 2	先行き
全産業	▲20.4	▲19.3	▲19.0	▲29.5	▲25.1	▲24.4	▲10.8
建設業	▲8.2	15.8	0.0	▲20.0	▲23.3	▲19.0	▲4.7
製造業	▲17.9	▲14.8	▲27.3	▲24.1	▲16.0	▲18.2	0.0
卸売業	▲24.3	▲48.7	▲32.4	▲36.7	▲35.1	▲50.0	▲27.3
小売業	▲44.4	▲10.5	▲40.0	▲50.0	▲22.7	▲23.5	▲17.6
サービスその他	▲21.6	▲26.1	▲14.3	▲30.2	▲25.0	▲16.9	▲8.5

## 【建設業】

● お客様へのエコポイント、住まいの給付金など、国策の浸透・PRに力を入れる	木造建築工事業
● 住宅着工件数の減少による今春以降の受注に不安感がある	リフォーム工事業
● アベノミクス効果は全く見られない。逆に資材等の単価が上がり、採算が悪化の方向で、会社経営が難しくなっている	冷暖房設備工事業
● これまで下落傾向だった原油価格が、2月から上昇傾向を見せている。当社の主要な資材は石油関連製品のため、価格の動向に注目したい	防水工事業
● 人手不足が深刻で、特に若年層の希望が皆無。工事量はそこそこ安定して見込めており、技術職の確保が急務である。外注に頼らざるを得ないと利益が薄くなり、経営が逼迫する恐れがある	防水工事業

## 【製造業】

● 為替の動向、原油等エネルギー価格の動向により原材料価格に影響があります。変化が大きく、先行き不透明です	食品製造業
● 印刷業界としては、企業の業態が多様化しているため、方向性が定まらないまま、マーケットの縮小に対応できていない	印刷業
● 市場において更なる受注価格競争を強いられるため、人件費・材料コストを圧縮しなければならず、為替レートの差異はあるものの一部海外依存は増加する	印刷業
● 原材料が石油製品なので、円安が続くと高騰してしまうのが悩みだが、原油価格が下落したお蔭で逆に値下げの傾向になるので安堵している。しかし、本来は価格安定が望ましいところである。	プラスチック製品製造業

## 【卸売・小売業】

● 足元の消費動向は流動的であり、店頭価格の上昇・電力料金の負担増・ガソリン代の値下げ等の動きが消費にどう影響を与えるか、引き続き注視していきたい。	食品スーパー
● 仕入商品は、原材料が円安と昨今の原油価格の下落によって、特に石化製品等の動向が読めず業界内においても値上げ・値下げの両面交渉が続いている。春明け以降まで流動的である	包装資材等卸売
● 鉄鋼業界の動向として、メーカーは価格据え置き発表をしているが、スクラップの値下がり、今後どのような影響が出てくるか不安である	鋼材卸売業
● 道内食品業界は内需型から変動はなく、円安による輸入品のコスト高は変わらない。今後、小規模企業は益々円安倒産が増えると思う	その他の食料・飲料卸売業
● 引き続き、ネット書店や中古書店、電子書籍等の影響を受け、厳しさを増している。合わせて消費税増税後の売上低下が顕著となっている。更に、暴風雪やJR事故による配本停止（翌日配本）が度々発生し、売上低下を招いている。	書籍雑誌小売業

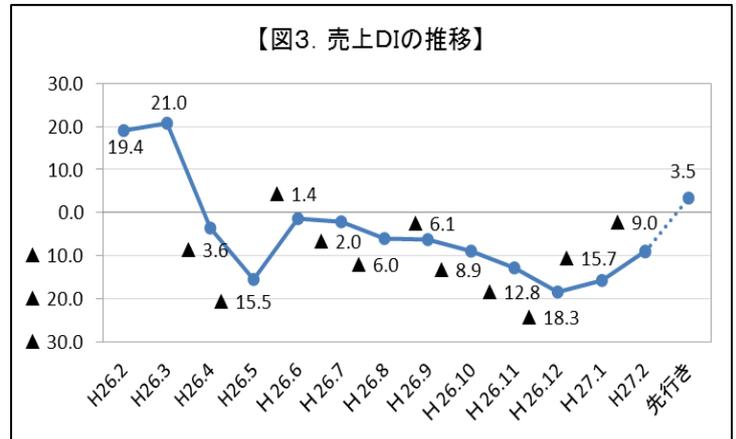
## 【サービス業その他】

● 建設発注時期と年度末とが重なる月で有るため、数か月は業務量を見込めるが、まだまだ先行きが安定しているとは感じられない。	土木建築サービス業
● 販売単価は横這いであるが、電気料金等の経費は価格アップ、賃金についても社員の生活を考えるとアップせざるを得ず、利益を確保することが難しい	建物サービス業
● 昨年2. 3月期の消費税増税前の駆け込み需要が無く、売上を昨年対比で押し下げる結果となっている。4月からの予想も相当厳しい状況となりうる	広告代理業

● アベノミクスの効果は全く見られていない。観光関連事業等において好転しているとのマスコミ報道があるが、一般企業ではその恩恵は無い	会計事務所
● タクシー利用のお客様は高齢者の方々が多くを占めており、昨年の消費増税後利用回数が減っている	一般乗用旅客自動車運送業

## (2) 売上（受注・出荷）について

- ・ 2月の売上DIは▲9.0と、前月から6.7ポイント上昇した。全産業で前月から改善しており、製造業が前月から25.4ポイント、小売業が11.8ポイントと大きく改善した。
- ・ 先行き見通しDIは3.5と2月から12.5ポイント上昇した。卸売業・小売業や12月以降悪化していた建設業で大きく回復を見込む一方、先行きの受注確保に対する不安の声も多く寄せられた。

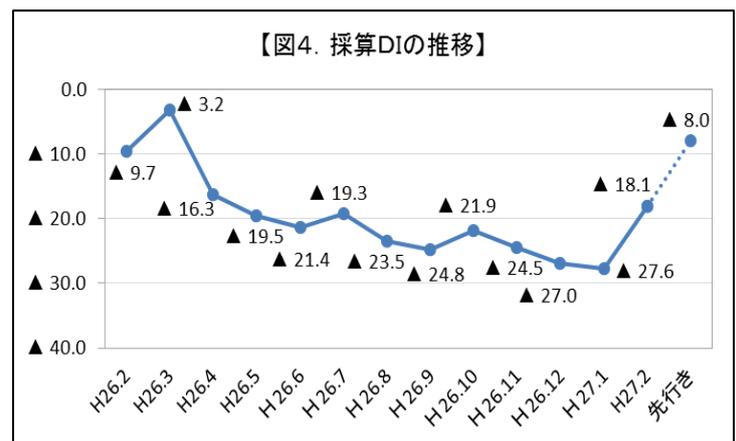


【表2. 産業別の売上DI推移】

	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	先行き
全産業	▲6.1	▲8.9	▲12.8	▲18.3	▲15.7	▲9.0	3.5
建設業	▲2.1	5.4	0.0	▲19.5	▲23.3	▲18.6	▲2.5
製造業	▲17.2	▲14.8	▲13.0	▲20.7	▲8.0	17.4	20.8
卸売業	0.0	▲23.1	▲23.5	▲22.6	▲27.0	▲23.5	▲6.3
小売業	▲33.3	▲10.5	▲15.0	▲42.9	0.0	11.8	23.5
サービスその他	▲1.3	▲5.7	▲14.1	▲9.2	▲12.9	▲9.8	0.0

## (3) 採算（経常利益）について

- ・ 2月の採算DIは▲18.1と前月から9.5ポイントの上昇。建設業・製造業・小売業で大幅に改善したが、価格転嫁交渉の難航や消費者の節約志向も根強く、依然としてDIはマイナスで、全体の36.7%が採算を「悪化」と回答している。
- ・ 先行き見通しDIは▲8.0と、小売業を除いて上昇し、2月から10.1ポイントの改善を見込む。

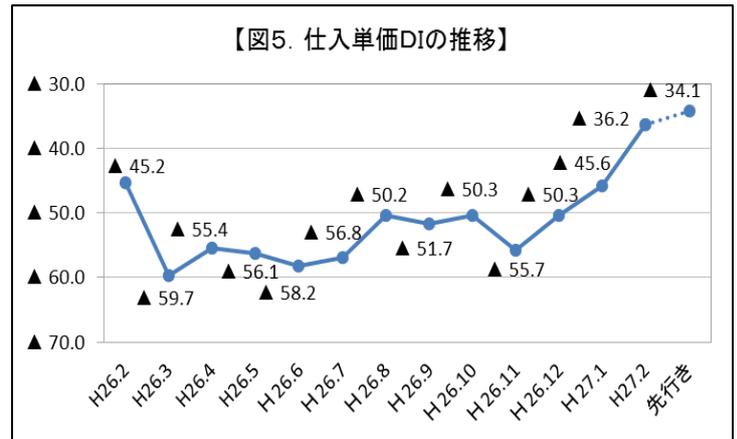


【表3. 産業別の採算DI推移】

	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	先行き
全産業	▲24.8	▲21.9	▲24.5	▲27.0	▲27.6	▲18.1	▲8.0
建設業	▲16.3	▲5.3	0.0	▲19.5	▲34.9	▲14.0	▲4.8
製造業	▲20.7	▲15.4	▲13.0	▲24.1	▲12.0	4.3	12.5
卸売業	▲20.0	▲38.5	▲32.4	▲40.0	▲43.2	▲39.4	▲6.1
小売業	▲52.9	▲31.6	▲50.0	▲50.0	▲22.7	0.0	▲17.6
サービスその他	▲28.0	▲21.4	▲31.0	▲21.9	▲22.2	▲23.0	▲16.9

#### (4) 仕入単価について

- 2月の仕入単価DIは▲36.2と、前月からマイナス幅が9.4ポイント縮小した（仕入単価が「低下」と回答した割合が上昇）。但し、「上昇」から「不変」の変化が主因で、仕入単価が「低下」と回答した企業の割合は前月から1.3ポイントの上昇にとどまっております。実態はほぼ横這い。
- 先行き見通しDIは▲34.1と、2月から2.1ポイントの改善。食料品の値上げなど仕入価格の高止まりなどから小売業・サービス業で悪化を見込んでいる。

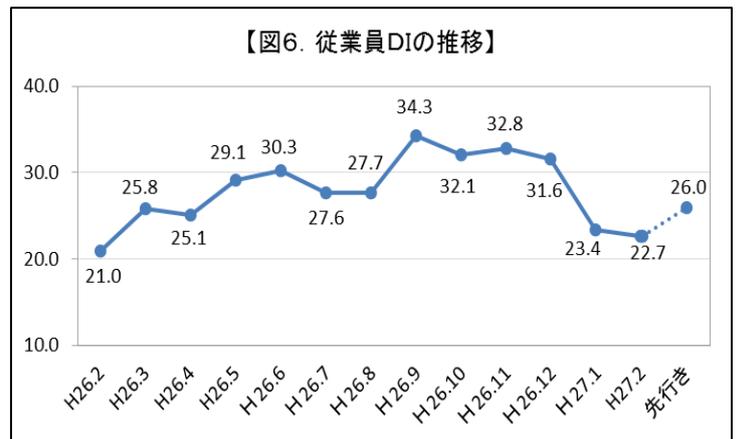


【表4. 産業別の仕入単価DI】

	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	先行き
全産業	▲51.7	▲50.3	▲55.7	▲50.3	▲45.6	▲36.2	▲34.1
建設業	▲75.5	▲68.4	▲78.9	▲65.0	▲69.8	▲51.2	▲37.2
製造業	▲51.7	▲66.7	▲56.5	▲62.1	▲56.0	▲45.5	▲33.3
卸売業	▲52.5	▲59.0	▲55.9	▲53.3	▲52.8	▲41.2	▲33.3
小売業	▲16.7	▲11.1	▲45.0	▲28.6	▲22.7	▲23.5	▲41.2
サービスその他	▲44.0	▲38.8	▲45.7	▲39.1	▲30.4	▲22.4	▲30.4

#### (5) 従業員について

- 2月の従業員DIは22.7と前月からほぼ横這い。建設業などの人手不足感が強まった9月から、DIは11.6ポイント低下しているが、依然として全体の26.2%の企業が従業員を「不足」と回答している。
- 先行き見通しDIは26.0と今月から3.3ポイント上昇した（人手不足感は強まる）。



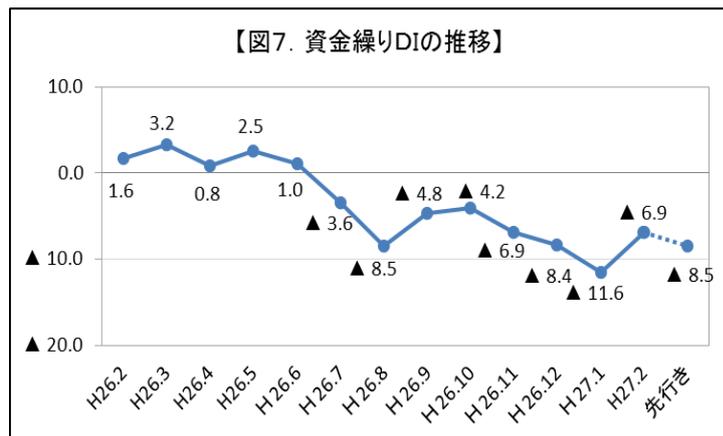
(※) 従業員DI = 「不足」 - 「余剰」。数値が大きくなるほど、人手不足感が強まる。

【表5. 産業別の従業員DI】

	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	先行き
全産業	34.3	32.1	32.8	31.6	23.4	22.7	26.0
建設業	55.3	60.5	50.0	48.7	31.0	27.5	34.9
製造業	25.0	23.1	17.4	20.7	24.0	17.4	8.3
卸売業	17.5	17.9	20.6	21.4	10.8	11.8	14.7
小売業	16.7	26.3	30.0	28.6	18.2	17.6	23.5
サービスその他	37.8	29.4	34.7	31.3	26.8	29.3	33.9

## (6) 資金繰りについて

- 2月の資金繰りDIは▲6.9となり、前月から4.7ポイント改善した。全体の約8割の79.2%の企業が「不変」と回答している。産業別では、小売業を除く4業種で上昇し、サービス業が1月から10.3ポイント、製造業が8.0ポイント改善した。
- 先行き見通しDIは▲8.5と、当月から1.6ポイントの悪化を見込む。



【表6. 産業別の資金繰りDI】

	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	先行き
全産業	▲4.8	▲4.2	▲6.9	▲8.4	▲11.6	▲6.9	▲8.5
建設業	▲2.0	2.6	0.0	0.0	▲14.0	▲11.6	▲14.0
製造業	13.8	11.1	0.0	▲6.9	▲8.0	0.0	▲4.2
卸売業	2.6	2.6	▲6.1	▲9.7	▲8.1	▲6.1	▲2.9
小売業	▲33.3	▲15.8	▲25.0	▲21.4	▲4.5	▲11.8	▲5.9
サービスその他	▲10.7	▲14.7	▲8.3	▲10.9	▲15.5	▲5.2	▲10.2

## 2. 主要取引先の海外生産・海外調達の国内シフトの状況について

- 円安が定着しつつある中、大手製造業などでは、海外生産や調達の一部を国内にシフトさせる動きが出始めており、今後期待される中小企業や地域経済への波及の見通しや、自社への影響等について調査を行った。
- 主要取引先における海外生産・海外調達については、「一部を国内へシフトした（シフトする見込み）」と回答した企業は、生産・調達いずれも全体の1.8%のみにとどまった。これに対し、「国内から海外へシフトした（シフトする見込み）」とした企業は、生産では4.2%、調達では2.4%となり、いずれも国内へのシフトを上回った（図8、図9）。
- 主要取引先の海外生産・海外調達の動向は、「変化はない（ない見込み）」とする企業が大半であり、為替動向に伴う生産・調達の国内シフトへの動きや影響は限定的で、自社の売上・受注に対してプラスの影響がある、と回答した企業は1社にとどまった。

